



2017大阪
テクノマスター
OSAKA TECHNO MASTER

JUNKI NARUSE

成瀬 純基

成光精密株式会社 工場長

ものづくりって「楽しいんだよ」

たぶん、一生忘れない(笑)

「自動車関係や半導体部品のように、精度が特に厳しいものを主につくっています。アルミ、ステンレス、鉄にくわえ、最近では硬くて細いセラミックなども扱っています。」高精度・高品質の精密部品加工を得意とする成光精密(株)において、その中でも特に高い精度を求められる難しい部品加工を担当している。成瀬氏がマシニングセンタを駆使し作り出す製品が、同社の品質と信頼を支えている。

そんな成瀬氏がものづくりの仕事に関わって20年。あとにも先にも途中で「できない」と投げだした仕事は1つだけある。「『やります』と仕事を受けた以上、なんとか作ろうとしたけれど、どうにもならなかった。だから、一生忘れない、たぶん(笑)。」それから7年。「けど、今やったらできると思います。」「世の中にある図面からは、だいたいのは作れます」と経験をつんだ同氏の言葉は力強い。

こういうもの作りたいな それを形にしたいんですよ

「例えば、スマホのケースが欲しい。けど、世の中に自分の欲しいケースがない。だったら作ったらいい。」ものづくりをはじめた20年。今では「機械も動かせるし、ものづくりの知識もある。」だから、作りたいものを作ることができる。成瀬氏の夢は際限なく広がっている。



やりがいは、仮説からはじまっている

「仮説をたてて、それがうまくいったとき」が、そのプロセスも含めて、仕事のやりがいであり、ものづくりの魅力だと語る。「仮説＝仕上がりまでのイメージ」がうまくいくかどうか、ものづくりの本質。製品を作るときはいつも仮説をたてる。「機械の前に立ち、何をやっても失敗する気がしないときがあるんです。」どれだけ高い精度のものを求められても絶対にできるという自信。完成したもののイメージが頭の中にでき、つくる過程でいきまらぬであろうポイントの解決策がいくつか思い浮かぶ。おこりえる問題に対して、仮説を考えぬく。

『自身がたてた仮説どおりにできること』をやりがいと感じるようになったのは、ここ数年のこと。1つの“もの”を作りあげるとき、全ての工程を思い描くことができるからこそその言葉だ。「自分で全部できることが町工場の仕事の魅力」と話す。

最近の若い子ってすごいと思うんですよ。

「最近の若い子はしっかりしてると思う。考える力がすごいんですよ。」パソコンが普及して、情報量が多い。だから、広い視野で物事を考えることができる。「今の子たちにしてみたら、当たり前やから、本人たちは気づかないのかもしれないけど、それってすごいことなんだと自覚して、もっと自分で動いたら、もっともっと人生楽しくなる」と若者へ寄せる期待は大きい。

伝えたいことは、「楽しい」ということ

「ものづくりの本質的なところは、楽しいんだよってことを知ってほしいですね。」仕事だから、覚えるときは大変なこともある。けど、自分が考えてものを作るって、すごいことだ。「自分が作りたいものを作ることができるということは、“特権”なんだと知ってほしいですね。」

今、この会社だからこそ、 自分がこれだけできるって感じられる。



<精度を極める切削加工>

高精度・高品質を強みとし、あらゆる金属の産業用機械部品、精密部品加工を手掛ける成光精密株式会社。同社では、3Dモデルでのデータ作成から加工・検査を行うことによる、絶対的な基準での生産体制を確立し、治具の活用により、高精度・高品質・低価格・短納期での製品提供を実現している。そんな同社で、工場長を務める成瀬純基氏。マシニングセンタを駆使し、同社の中でも特に高い精度を求められる部品を担当して製造しており、高い技能を有している。また、工場長として、部下や後輩、海外からの研修生に対する人材育成にも熱心で、同社が取り組んでいる工場見学の受け入れなどにおいても、中心的な役割を果たしている。

■所属企業概要

成光精密株式会社 事業内容:機械部品・電気部品等、あらゆる金属の加工品、産業用機械の設計・製作
〒552-0001 大阪市港区波除1丁目4-35 TEL:06-6586-5771/FAX:06-6586-5772
<http://www.seikouseimitsu.com/>

